



臨床美術ジャーナル Vol.8 No.1 (2019) 目次

【巻頭言】

2018 年度筆録

木戸修 (臨床美術学会 会長・東京藝術大学 名誉教授)

【基調講演】

「臨床」とものがたり

佐藤 伸彦 (ものがたり診療所 所長)

【シンポジウム】

介護予防事業における臨床美術講座の実践

武部 正樹 (富山県高岡看護専門学校 事務局長)

住み慣れた地域でいきいきと暮らす～暮らしに臨床美術が根付いた事例～

鷺北 裕子 (新富アートクラブ) 他

精神科クリニックの待合室での美術療法について(他の精神科療法との連携も含めて)

渡辺 克雄、上野の森クリニック) 他

【分科会 1 報告】

子どもの表現世界と臨床美術

河合 規仁 (東北福祉大学) 他

【分科会 2 報告】

障がい者に対して臨床美術が為せること

保坂 遊 (東京家政大学) 他

【分科会 3 報告】

高齢者現場に広がる様々な自己表現のものがたり

青木 一則(東北福祉大学) 他



【原著】

“場の中にいる”ことの学びをめぐって

北澤 晃 (富山福祉短期大学)

〈こと〉性を基軸とした臨床美術研究の臨床美術士によるアプローチの意義

北澤 晃 (富山福祉短期大学) 他

子どもの発達過程に沿った造形表現と臨床美術の俯瞰的検証

保坂 遊 (東京家政大学)

【特集:心身へ働きかける多様な芸術の力】

臨床美術ジャーナル vol. 8 編集委員会企画

特集テーマ「心身へ働きかける多様な芸術の力」

臨床美術ジャーナル編集委員会

「肯定の美術」としての臨床美術 —その現代的意義と一つの提案

松田 弘 (東広島市立美術館館長)

—音楽療法の視座から臨床における創造的表現のプロセスについて—

高田 由利子 (札幌大谷大学)



【研究報告】

アートワークを軸とした臨床美術士・作業療法士・ケアワーカーによる新たな連携

井澤ゆうか（クリニカルアートあわー） 他

保育園での臨床美術の実践とその効果

岡野 宏宣（富山福祉短期大学）

美術教育と人間の成長発達

—美術教育目標達成度調査からの考察—

小野寺 牧子（岩手県立黒沢尻北高校）

高次脳機能障がい者リハビリテーションへの臨床美術からの提案

—高次脳機能障がい者通所施設での実践を通して—

土門 環（臨床美術「ほっかいどう」）

「落書きすること」の精神面に与える有用性について

The effectiveness of “scribble” on mental aspects

袴田竜太郎